

登園許可報告書

幼稚園長様

組 幼児名

病 名: _____

療養期間: _____年 _____月 _____日 ~ _____年 _____月 _____日 _____日間

上記の病状で療養中であったが、主要症状が消退し感染のおそれがないと認められました。

令和 _____年 _____月 _____日 _____かかった病院

※ 療養期間を、必ず医師に確認してください。

※ 保護者の方がご記入の上、幼稚園へご提出ください。 保護者名 _____

(印)

き り と り せ ん

出席停止となる病気と期間 (幼稚園)

◎ 第1種の感染症……治療するまで。

エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘瘡(天然痘)、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、ジフテリア、急性灰白髄炎(ポリオ)、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る)、中東呼吸器症候群(病原体が ベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る)、特定鳥インフルエンザ(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年法律第114号)第6条第3項第6号に規定する特定鳥インフルエンザをいう)、新型コロナウイルス感染症(病原体が ベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和2年1月に中華人民共和国からWHOに対して人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る)であるものに限る)

◎ 第2種の感染症……下記の期間。ただし、病状により学校園医その他の医師においてその感染症の予防上支障がないと認めるときはこの限りではない。

- A. インフルエンザ……………発症(発熱)後5日を経過し、かつ、解熱した後3日を経過するまで
【鳥インフルエンザ(H5N1)及び
新型インフルエンザ感染症等を除く】 (予防内服中のため欠席した場合も出席停止扱いとする)
- B. 百日咳……………百日咳として加療後2週間、または発病後4週間
- C. 麻疹(はしか)……………解熱後3日を経過するまで
- D. 流行性耳下腺炎(おたふく 風邪) ……耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで
- E. 風疹……………発疹が消失するまで、(発疹後の色素沈着は登校可)
- F. 水痘(水ぼうそう)……………すべての発疹が痂皮化するまで、又は発疹出現後7日まで
- G. 咽頭結膜炎(プール熱)……………主要症状が消退した後2日を経過するまで
- H. 結核及び髄膜炎菌性髄膜炎 ……病状により学校園医等において感染のおそれがないと認めるまで

◎ 第3種の感染症……感染のおそれがないと認められるまで。

コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症(O-157…無症状者は登園可)、バラチフス、腸チフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎

下記の病気については、原則として出席停止になりません。ただし、感染拡大を予防する必要がある場合のみ、学校園医への相談を経た上で、出席停止を検討し学校園長が判断します。

- A. 溶連菌感染症……………適正抗生剤治療開始後24時間後、全身状態良ければ登校可
- B. 伝染性紅斑……………発疹のみで全身状態良ければ登園可
- C. ヘルパンギーナ……………全身症状の安定した者については、うがい手洗い等の予防法の励行を行えば登園可
- D. 手足口病……………全身症状の安定した者については、うがい手洗い等の予防法の励行を行えば登園可
- E. 流行性嘔吐下痢症(ウイルス性腸管感染症; ノロウイルス、ロタウイルス等による嘔吐下痢症)
……………嘔吐・下痢消失し、全身状態良ければ登園可
- F. マイコプラズマ感染症……………急性症状改善し、全身状態良ければ登園可
- G. ウイルス性肝炎……………A型肝炎; 肝機能正常化で登園可、B型肝炎・C型肝炎キャリア; 登校可
- H. 伝染性膿痂疹(とびひ) ……病巣が乾燥するまで休ませる。

【その他の感染症】

※ 第1・2・3種感染症は法律によって、その他の感染症については学校園長の判断によって、出席停止になります。

(播磨町 2020.04)

服薬介助依頼書

薬を保管し、保護者の代行として服薬介助をお願いします。
 なお、本件について、幼稚園には、一切の責任を問いません。

依頼先		
依頼者	保護者名	(印)
	園児名	
	電話番号	
主治医	医療機関名	
	医師名	
	電話番号	
病名		
症状		
医薬品について	薬を飲ませる日	年 月 日
	薬を処方された日	年 月 日
	内服薬	飲む時間 食前・食後・食間 (時頃) 種類 粉薬・シロップ・その他 () 飲み方 そのまま・その他 ()
	種類	抗アレルギー剤・抗生物質・咳止め・下痢止め・かぜ薬 その他 ()
	外用薬	使う部分 使う時間
	保管	室温・冷蔵庫・その他 ()
その他 注意事項	薬剤情報提供書 有 ・ 無	